

1 学年 後期 学習内容と評価規準

後期の学習内容と学校が評価をするにあたっての規準の例です。

※すべてこのように評価しているわけではありませんが、これを規準にあゆみを作成しております。

【知・技】…知識及び技能の評価

【思・判・表】…思考力、判断力、表現力等の評価

【態】…主体的に学習に取り組む態度の評価

教科	単元名・教材名	評価規準
国語	うみの かくれんぼ ※カタカナをみつけよう	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【態】粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。
	かずと かんじ	【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。 【思・判・表】語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。 【態】積極的に教える方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って教える歌を書こうとしている。
	くじらぐも ※まがいをなおそう	【知・技】かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 【思・判・表】場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【態】積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。
	しらせたいな、見せたいな	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。 【思・判・表】経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。 【態】知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。
	かん字のはなし ※ことばをたのしもう	【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 【思・判・表】語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【態】積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。
	じどう車くらべ	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【態】進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。
	じどう車ずかんをつくらう	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【態】分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。
	どんな おはなしができるかな	【知・技】句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。文の中における主語と述語との関係に気づいている。 【思・判・表】話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。 【態】物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。
	たぬきの 糸車	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 【思・判・表】場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 【態】場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなどころとそのわけを考えようとしている。
	日づけと よう日	【知・技】1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【態】積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分で唱え歌を作ろうとしている。
	てがみで しらせよう	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。 【思・判・表】語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 【態】書いた文章を積極的に見直ししながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。
	むかしはなしを よもう ※なりきってよもう	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 【思・判・表】語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【態】積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。
	どうぶつのおもしろいこと ※ことばであそぼう	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 【思・判・表】文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【態】文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。
	ものの名まえ ※わらわしべようじゃ	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。 【思・判・表】互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 【態】積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
	ことばあそびをつくらう	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。 【思・判・表】語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 【態】身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
	これは、なんででしょう	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 【態】粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。
	ずうっと、ずうっと、大すきだよ	【知・技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 【態】友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
	にて いる かん字	【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している。 【態】進んで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。
いい こと いっぱい、一年生	【知・技】敬体で書かれた文章に慣れている。 【思・判・表】経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【態】事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。	
書写	【知・技】 点画の書き方や文字の形、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方、横書きの書き方、数字の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 ・点画の長短や方向に注意しながら、文字を正しく書いている。 ・「日」「山」「川」の成り立ちを知り、丁寧に書いている。 ・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	

教科	単元名・教材名	評価規準
算	おおきくらべ (1)	【知・技】長さ・かさの概念を理解し、具体物の長さ・かさの比較ができる。 【思・判・表】長さ・かさの比較を通して、測定の基礎となる考え方を身につけている。 【態】身のまわりものの長さやかさに関心をもち、いろいろな比べ方のよさや学ばせを感じている。
	3つのかずのけいさん ※ふくしゅう・じゅんび	【知・技】3つの数をたしたり、ひいたりする計算の意味を知り、1つの式に表して計算することができる。 【思・判・表】3つの数をたしたり、ひいたりする計算を1つの式に表して考えている。 【態】3つの数が用いられる場面に親しみを持って関わり、1つの式に表すよさや学ばせを感じている。
	たしざん (2)	【知・技】繰り上がりのある計算の仕方について理解し、(1位数)+(1位数)の繰り上がりのある計算ができる。 【思・判・表】10の補数に着目して、繰り上がりのあるたし算の仕方を考えている。 【態】たし算が用いられる場面に親しみを持って関わり、10をつかって計算するよさや学ばせを感じている。
	かたちづくり ※ふくしゅう・じゅんび	【知・技】色板や棒などを使っていろいろな形が構成されていることを理解し、いろいろな形をつくることのできる。 【思・判・表】図形を構成したり観察したりするときの基本的な見方・考え方を身につけている。 【態】色板や棒などを使っていろいろな形をつくることに親しみを持って関わり、形の特徴や目をつけるよさや学ばせを感じている。
	ひきざん (2) ※0のたしざんとひきざん	【知・技】繰り下がりのある計算の仕方について理解し、(十何)-(1位数)の繰り下がりのある計算ができる。 【思・判・表】10といくつにわけて、繰り下がりのあるひき算の仕方を考えている。 【態】ひき算が用いられる場面に親しみを持って関わり、10といくつという数の見方で計算するよさや学ばせを感じている。
	ものとひとのかず ※わくわくぶらぐらみんぐ ※ふくしゅう	【知・技】数量の対応や順序を絵や図に表したり、式にかいて解決したりすることができる。 【思・判・表】絵や図を活用して、ある数量を他の数量に置き換えて考えたり、並んでいる数からその順番を考えたりしている。 【態】順序数や集合数の用いられる場面に親しみを持って関わり、絵や図を使って考えることよさや学ばせを感じている。
数	大きいかず ※なんじ なんぶん ※おなじかずずつ ※たすのかなひくのかな ※ふくしゅう	【知・技】100までの数や100を少しこえる数について、数の構成や系列、大小関係を理解するとともに、よんだり、かいたりすることができる。 【思・判・表】「10かいくつと、1かいくつ」や「100と何十何」という見方を働かせて、100までの数や100を少しこえる数について考えている。 【態】身のまわりの100までの数や100を少しこえる数に親しみを持って関わり、10ずつまとめて数えたり数字や数直線で数を表したりするよさや学ばせを感じている。
	100までのかずのけいさん ※おおいほうすくないほう ※おおきくらべ(2) ※かえりますか?かえませんか? ※もうすぐ2年生 ※けいさんのれんしゅう	【知・技】数構成にもとづくたし算・ひき算の計算の仕方を理解し、100までの数のたし算・ひき算ができる。 【思・判・表】数構成にもとづいて、たし算・ひき算の計算の仕方を考えている。 【態】100までの数のたし算・ひき算の場面に親しみを持って関わり、数構成にもとづいて計算することよさや学ばせを感じている。

生活	きせつと なかよしあき	【知・技】の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。 【思・判・表】秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いや特徴を見付け、遊びや遊ばせに使うものを工夫してつくっている。 【態】秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。
	かぞく にこにこ大きくせん	【知・技】家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることがわかっていく。 【思・判・表】家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えている。 【態】家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとしている。
	きせつとなかよしふゆ	【知・技】冬の自然に関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、冬の自然遊びの面白さや自然の不思議さ、遊びの準備や後片付けの大切さに気付いている。 【思・判・表】冬の自然に関わる活動を通して、冬の特徴や春や夏、秋との違いを見付け、遊びや遊ばせに使うものを工夫してつくっている。 【態】冬の自然に関わる活動を通して、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出そうとしている。
	もうすぐ2年生	【知・技】自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっていく。 【思・判・表】自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えている。 【態】自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

音楽	こんにちは けんぱんハーモニカ ※うたのもりあがり	【知・技】鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身につけている。 【思・判・表】旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【態】鍵盤ハーモニカで様々な表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	ねいろと つよき ※めざせ がっきめいじん「すずめがちゅん」	【知・技】発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくらたりする技能を身につけている。 【思・判・表】音色や強弱などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いたりしている。 【態】様々な試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
	うたで まねっこ ※ねこのなきごえであそぼう ※ほしのおんがくをつくらう	【知・技】思いに合った表現に必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身につけている。 【思・判・表】フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【態】聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	おんがくのながれ ※みんなのおんがく	【知・技】曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりについて気付いている。 【思・判・表】旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【態】曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
図 工	全単元を通して	【知・技】クレヨン・パス・絵の具・油粘土・粘土ペラ・はさみ・のり・紙等の材料や道具に十分になれるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。 【態】それぞれの単元を通して、その活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。
	おはなしだいすき	【思・判・表】物語を聞いたり読んだりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	ならべて ならべて	【思・判・表】身の回りにある自然の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。
	たいせつボックス	【思・判・表】箱の形や色、入れたいものなどから感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	すきなちゃんの すきなすきま	【思・判・表】身の回りの隙間の造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
	わくわくおはなし すごく	【思・判・表】すごくやお話の世界を想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色などを選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	いっぱいつかって なにしてよう	【思・判・表】箱の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。
	はこでつくったよ	【思・判・表】箱の形や色、積んだり並べたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	いろいろなかたちの かみに	【思・判・表】紙の形をいろいろな向きから見て感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	スルスルビューン	【思・判・表】滑らせたいものや材料を滑らせて感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	さわりごこちはっけん	【思・判・表】身の回りのものの触った感じの造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
	うつしたかたちから	【思・判・表】写した形や色から感じたことや想像したことから表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。

体 育	鉄棒を使った運動遊び	【知・技】ふとん干し、さる、だんごむし、ぶらさがり、つぼめ、前回り下り、跳び上がり、後ろ跳び下りなどの技ができる。 【思・判・表】や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 【態】跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
	ボール蹴りゲーム	【知・技】キックベースボールや的あてボール蹴りゲームの行い方がわかる。ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 【思・判・表】楽しボール蹴りゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 【態】順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。勝敗を受け入れている。
	跳の運動遊び	【知・技】幅跳び遊びや高跳び遊びの行い方がわかる。 【思・判・表】自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。幅跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達の良い跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。 【態】跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの跳ぶ場所の安全に気を付けている。
	鬼遊び	【知・技】少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたたりすることができる。逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク（タグなど）を取ったりすることができる。 【思・判・表】少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。 【態】順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。勝敗を受け入れている。
	ボール投げ遊び	【知・技】ボール投げゲームの行い方がわかる。ねらったところにボールを投げたり、的に当てたり、得点したりすることができる。 【思・判・表】ボールを速くに投げるための投げ方を工夫したり、練習の場を選んだりしている。 【態】勝敗を受け入れている。ボールを投げる場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
	スキー遊び そり遊び	【知・技】運動の行い方を知るとともに、スキーの用具の扱い方や名称について理解している。 【思・判・表】スキーを履いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。 【態】運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けていたりしている。
	跳び箱を使った運動遊び	【知・技】跳び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 【思・判・表】友達の良い跳び方を擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。 【態】跳び箱遊びに進んで取り組んでいる。順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。